

「災害用飲用水浄水装置」の開発・実用化

SEE研究会

(Smart Environment and Energy)

水処理プロジェクト

所在地

諏訪圏

構成企業

4社

主要研究

・災害用飲用水浄水装置の小型ラインナップ研究
・工場廃液減容化研究

研究開発のポイント

【課題】災害時緊急避難場所などでは、安全な水の確保が難しい現実がある。平成28年熊本地震時、ペットボトル貯蔵は2日間で配給終了。河川水などは農薬、細菌により使用できず、水不足により水タンク車による給水を待つしかなかった。

【開発概要】災害時にどんな水源からでも飲用水が確保でき、かつ可搬可能で安価な浄水装置とし、安全・安心な街づくりに貢献する。

主な開発成果

- どんな水源からでも飲用水が確保可能。活性炭吸着塔と逆浸透膜(RO膜)でろ過方式を採用し、汚染除去率99%。
- 飲用水量 250ℓ/h(1人1日3ℓ供給で約2,000人分に相当)。
- リヤカー搭載型の移動式浄水装置とし、少人数で可搬可能。
- 水質計(電気伝導率計)を装備し、処理水の水質を自動判別。
- ポータブル自家発電機又はAC100Vで運転可能。
- 平成29年の諏訪圏工業メッセに現物展示。

効果

- 茅野市に選定され、平成29年に1号機を納入。
- 諏訪圏工業メッセ展示が全国紙に掲載され、他県からの問い合わせが入り、仕様などを調整中。
- より小規模な案件に対応可能なラインナップを構築中。

諏訪テクノレイクサイド地域センター

参画機関

- ・SEE研究会 参加企業:28社(6プロジェクト)
主催:NPO 諏訪圏ものづくり推進機構
諏訪テクノレイクサイド地域センター
共催:公立諏訪東京理科大学
- ・水処理プロジェクト 構成企業:4社
野村ユニソン(株)、(株)オーセンアライアンス
(株)カネトモ、(株)コーエキ

浄水前後の水



宣伝用パンフレット(抜粋)

長野日報(H29.12.2)

【お問合せ先】 SEE研究会 (環境エネルギー研究会) / 水処理プロジェクト
発行所: 茅野市 茅野市役所 環境課 電話: 0266-54-2588 FAX: 0266-54-5133
発行所: 茅野市 茅野市役所 環境課 電話: 0266-54-2588 FAX: 0266-54-5133